

**みもざ** 黄色の小さく丸いお花です。毎年3月8日は国際女性デーとされており、イタリアでは「みもざの日」と呼ばれ、男性が日ごろの感謝の気持ちを込めて妻や恋人、身近な女性にみもざの花を贈る習慣があります。女性たちは家事や育児から解放され、友達と食事やおしゃべりを楽しむ日となっているそうです。

## 男女共同参画週間パネル展

令和6年度  
男女共同参画週間キャッチフレーズ

「だれもが どれも 選べる 社会に。」



国は、毎年6月23日～29日までの期間を「男女共同参画週間」としています。うるま市においても、市役所本庁舎東棟1階市民ロビーにおいて市女性団体連絡協議会等の活動、うるま市男女共同参画推進条例などの様々な男女共同参画に関する情報を提供するパネル展を開催し、多くの市民が男女共同参画社会について学ぶ機会となりました。

## 女性に対する暴力をなくす運動 & 児童虐待防止月間

国は、毎年11月12日～25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間、また毎年11月を児童虐待防止月間と定めています。うるま市においても、女性に対するあらゆる暴力の根絶と、児童虐待の防止のための啓発活動として、パネル展等を開催する予定です。詳しくは、「広報うるま」やホームページ等でお知らせします。



**ダブルリボン(オレンジ&パープルリボン)**

オレンジリボン→児童虐待防止のシンボル

パープルリボン→女性に対する暴力の根絶をめざす取り組みのシンボル

家庭や学校、地域など社会全体に、女性や子どもに対する暴力防止への深い理解と関心が広がり、被害にあっている人に「あなたはひとりじゃない STOP Violence」というメッセージを込めています。

## ①男女共同参画社会づくり 推進事業補助金を活用してみませんか?

### 対象団体

- ①市内に在住又は勤務する方によって構成されていること
- ②構成員が概ね10名以上であること
- ③継続的に活動を行っていること又は行おうとしていること
- ④政治活動、宗教活動又は営利事業を行っていないこと

### 対象事業

男女共同参画社会づくりに関する学習会、講演会等  
男女共同参画社会づくりに関する意識啓発事業  
その他男女共同参画社会づくりに関する事業

### 補助金の額

1事業当たり2万円を上限とする

## ③グラウンドゴルフ大会

○7月27日(土)快晴の中、市女性団体連絡協議会が主催する、女性団体連絡協議会結成20周年記念事業・資金造成グラウンドゴルフ大会が開催されました。大会には会長や会員をはじめ、市長や教育長も参加され、和気あいあいとした雰囲気の中、熱戦が繰り広げられました。



【お問合せ先①～③】うるま市 防災広報対策部 共生推進室(男女共同参画センター) ☎098-973-8927

## 相談窓口のご案内

◆一人で悩まずに、まずはご相談ください。◆

- うるま市女性相談室(子育て包括支援課) ☎973-5041 (月～金 8:30～17:00)
- 中部配偶者暴力相談支援センター ☎989-6603 (月～金 8:30～17:15)
- よりそいホットライン ☎0120-279-338(24時間通話無料)
- おきなわ子ども虐待ホットライン ☎886-2900 (月～金 17:15 翌日 8:30 / 土日・祝日は24時間)
- ていする相談室男性専用 ☎868-4011 (日・月 10:00～16:00)
- ていする相談室女性専用 ☎868-4010 (火～土 10:00～17:00)
- にじいろ相談性の多様性に関する相談 ☎880-8434 (土 10:00～17:00)
- 沖縄県警察本部警察安全相談 ☎#9110 ☎863-9110 (24時間)
- 沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター ☎#8891 ☎975-0166 (24時間) (with you おきなわ)

内閣府性暴力に関する SNS 相談  
Cure time (キユアタイム)  
(毎日 17:00～21:00)



警察庁性犯罪被害電話相談  
☎#8103 (ハートさん)



## ④うるま市女性団体連絡協議会 結成20周年記念事業・資金造成 映画上映会のお知らせ

うるま市女性団体連絡協議会では、うるま市民芸術劇場響ホールで結成20周年記念事業・資金造成映画上映会「52ヘルツのクジラたち」を開催いたします。

2021年「本や大賞」を受賞した「町田その子」の同名ベストセラー小説を、杉咲花主演で映画化したヒューマンドラマとなっております。

多くの市民のご来場を心よりお待ちしております。

※日時: 令和6年11月23日(土)  
開場午後2時30分

※入場料: 大人1,000円(前売り) / 当日1,400円

## 令和6年度 男女共同参画啓発講座報告 ～ 思春期の心と体プログラム 令和6年6月～8月 ～

委託先：おきなわCAPセンター

うるま市では、男女共同参画推進事業のひとつとして、市立中学校を対象におきなわCAPセンターの講師を派遣し、思春期の人権とデートDV予防講座を開催しております。令和6年度は10校を開催予定であり、現在6月から8月まで3校を終了しています。



～講座を受講した生徒の感想～

- ・知らなかった事を知れたし、初めて聞く言葉もあった。これからの友人関係を大切にしたいと思った。
- ・このプログラムを受けて、自分の事を大切な存在だと思える事が出来た。
- ・「男らしく」や「女らしく」ではなく、「自分らしく」ということを大切にしていきたい。

## アンコンシャス・バイアスを知っていますか？

8月21日(水)うるみん3階において「アンコンシャス・バイアス」について、うるま市教育委員会学校生活応援課の「臨床心理士・仲間信也氏」を講師に招いて講座を開催しました。



アンコンシャス・バイアスは、「男は仕事」、「女は家庭」などのような、**無意識の思い込み**のことを言います。それがあっても自分が悪いわけではありませんが、無意識に「決めつけ」たり「押し付け」たりすると、相手を傷つけてしまう可能性があります。

アンコンシャス・バイアスの詳細はこちらのリンク・QRコードから

[https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu\\_r04.html](https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r04.html)



SDGsとは、持続可能な社会をつくるために、2030年までに発展途上国だけでなく、先進国も含めた国際社会が達成を目指して取り組むべき17の目標のことです。「5」の目標を見てみましょう。



☆男女平等を実現し全ての女性と  
女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう☆

あらゆる場所で女性と女兒に対する差別を終わらせることを狙っています。

(内閣府男女共同参画局ホームページより)

日本のジェンダー・ギャップ指数は前年の125位から118位に順位を上げました。状況を見ると女性の政治参加度が低いことが課題になっていますが、去年に比べてほぼ改善しております。

ジェンダー・ギャップ指数 118位/146カ国中2024		
順位	国名	ギャップ指数
1	アイスランド	0.935
2	フィンランド	0.875
3	ノルウェー	0.875
4	ニュージーランド	0.835
118	日本	0.663

ジェンダー・ギャップ指数 2024年日本の状況		
分野	ギャップ指数	順位
政治	0.118	113位
経済	0.568	120位
教育	0.993	72位
健康	0.973	58位
総合	0.663	118位

グローバル・ジェンダー・ギャップ指数(The Global Gender Gap Index: GGGI)とは、世界経済フォーラムが毎年発表している、世界男女格差指数。各国を対象に、政治・経済・教育・健康の4部門について、男女にどれだけの格差が存在しているかを分析してスコア化し、そのスコアを元に各国の男女平等の順位をつける。(完全平等なら1、完全不平等なら0)

持続可能な開発目標(SDGs)を達成するには、ジェンダーの平等と女性のエンパワーメントの実現が必要であります。

## 男女共同参画社会の推進と実現を目指して

### 女性自治会長インタビュー

自治会の紹介

私達の自治会には小学校、子ども園、保育園、学童クラブの施設があり、とても子どもたちの多い地域です。月に2回の子ども食堂に加え、夏休みには学習支援寺子屋を開催し、元教諭の方々に御協力頂いております。各世代での活動も活発で、むつみクラブ(老人会)は子どもたちへの見守り活動、三線クラブで高齢施設への慰問を行っております。又、成人会、女性会ではボランティア清掃美化活動にも力を入れております。



みどり町1・2丁目 自治会長  
廣瀬 みどりさん

心がけていること

助成金を活用し、通学路環境作りの一環として、通りに面している住宅には花鉢を置かせて頂いております。花や緑は心を和ませる効果があり、このような地域では他人の目が気になる事が多く、犯罪は起こりにくいと言われています。花や緑に囲まれ、『住み続けたいまち・みどり町』を目指しております！

### 育児休業取得者インタビュー



うるま市役所

上江洲 貴之さん

家族構成は私、妻、娘の3人家族です。職員としての在職年数は平成22年度に採用されて、現在14年目です。育児休業については初めての子供で子育ての経験がなく、妻と共に育児に不安がありました。しかし、二人の子だから二人で育児をするという思いがあり、育児休業を取得する事を考えました。実際に育児休業を取得して感じている事は産まれた頃は夜泣きで連続した睡眠をとる事ができず、出産後の体力が落ちた妻には休んでもらう事により、妻を支える事が出来たと思います。また妻が肉体的にも精神的にも大変な時期に育児と家事をするのは、とても大変な事です。育児や家事を行う事で、少しでも妻のサポートができて良かったなと思っています。子育て中のお父さんへアドバイスとしては子供の成長は早く、昨日まで出来なかった事が今日は出来た。そんな子供の成長を見届けられるという喜びがあります。子供とゆっくり時間を過ごす事は、振り返れば宝物の様な時間だと思います。また育児だけでなく家事を行う事も大事な事だと感じました。少しでも妻と子供がゆっくりした時間をすごし、笑いあっている姿をみるのはとても幸せな事だと思います！